

第1章 公共交通を取り巻く現状

1 地域の概況

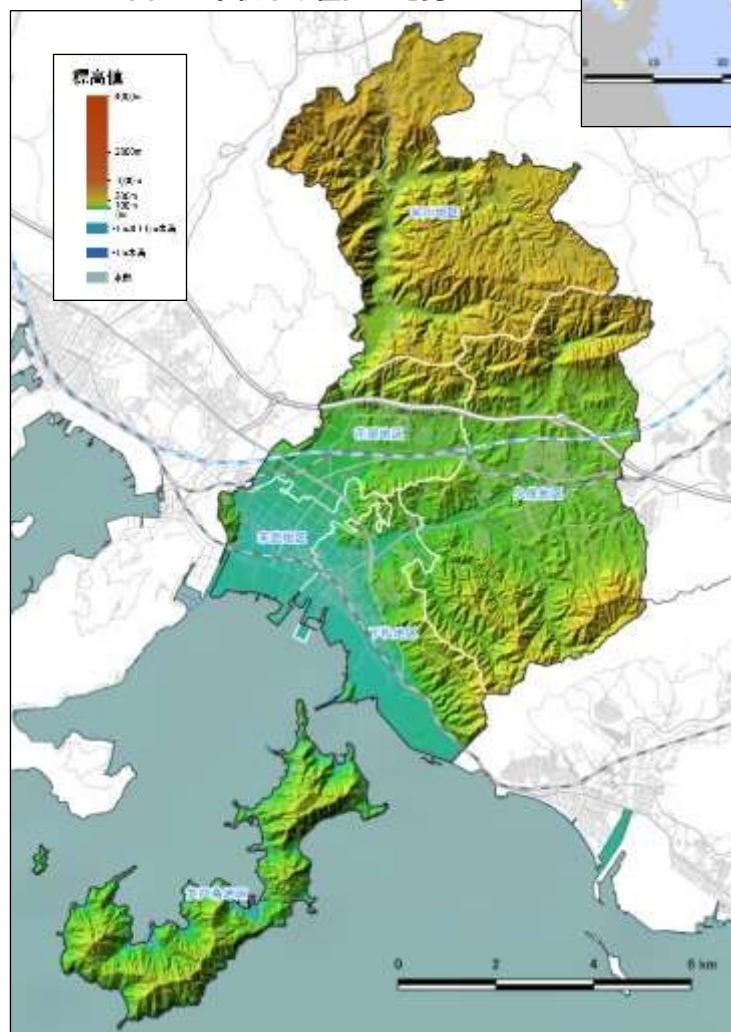
(1) 位置・地勢

下松市は山口県南東部に位置し、北西を周南市、東を光市と隣接、南は瀬戸内海に面しています。面積は89.34 km²で、東西12.7 km、南北20.6 kmのコンパクトな市域となっています。

沿岸部には大規模工場群が立地しており、幹線道路が走る周辺の平地部では、周南市や光市と連続した市街地が形成されています。



図1 下松市の位置・地勢



資料：地理院タイル（色別標高図）

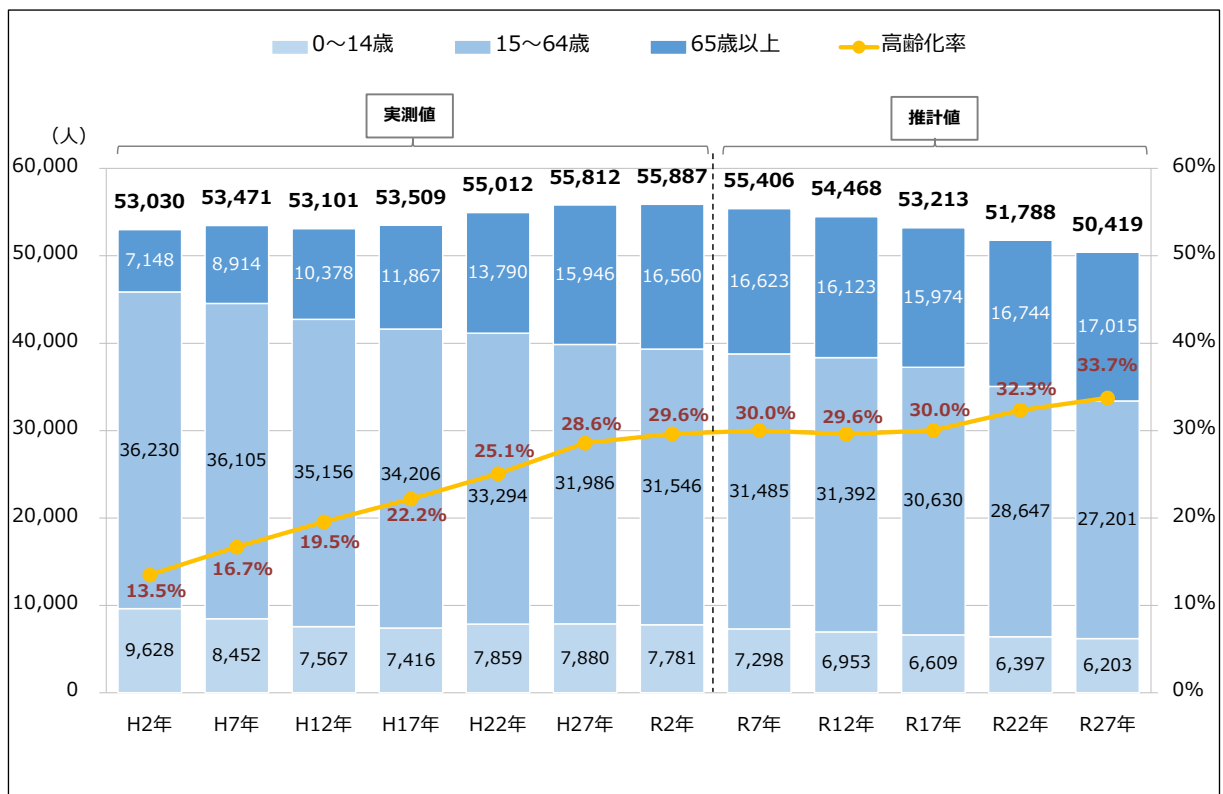
(2) 人口構成・分布

令和2(2020)年国勢調査の人口は約5万5千人となっています。近年の推移を見ると、山口県内ほぼ全ての市町で人口が減少する中、本市の人口は現状維持の傾向にあります。

今後、年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)は減少し、老年人口(65歳以上)は現状維持が予想されることから、人口減少と高齢化が緩やかに進む見込みです。

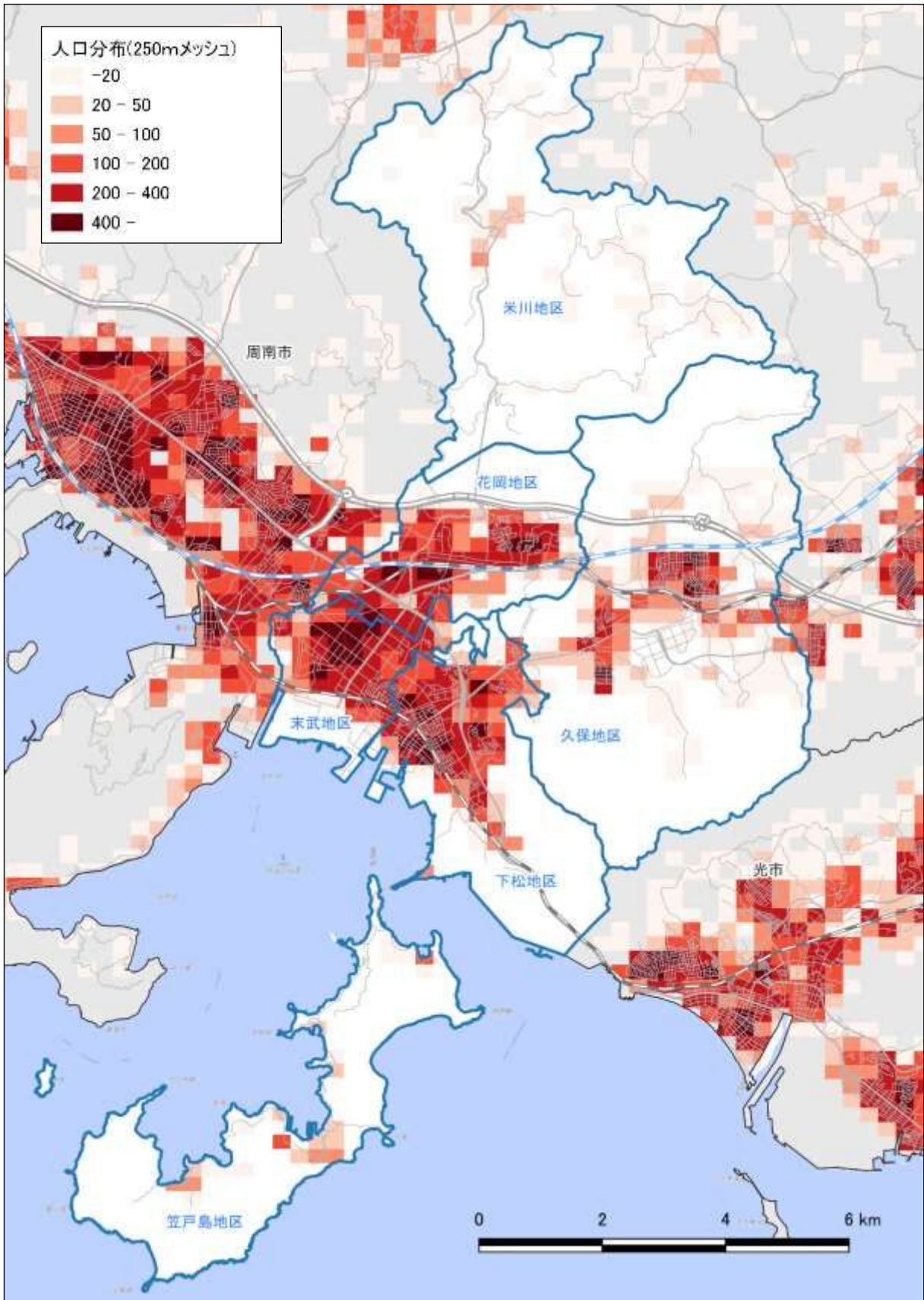
人口分布状況を見ると、下松地区(西部)、花岡地区、末武地区の3地区に人口が集中しており、久保地区や米川地区では人口が分散しています。

図2 人口・高齢化の推移と将来推計



資料：国勢調査(平成2(1990)~令和2(2020)年)、
 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口(令和7(2025)~27(2045)年)
 人口の総数に年齢不詳の者を含む
 平成27(2015)年以降は国勢調査に関する不詳補完結果(遡及集計)の数値を掲載

図3 人口分布

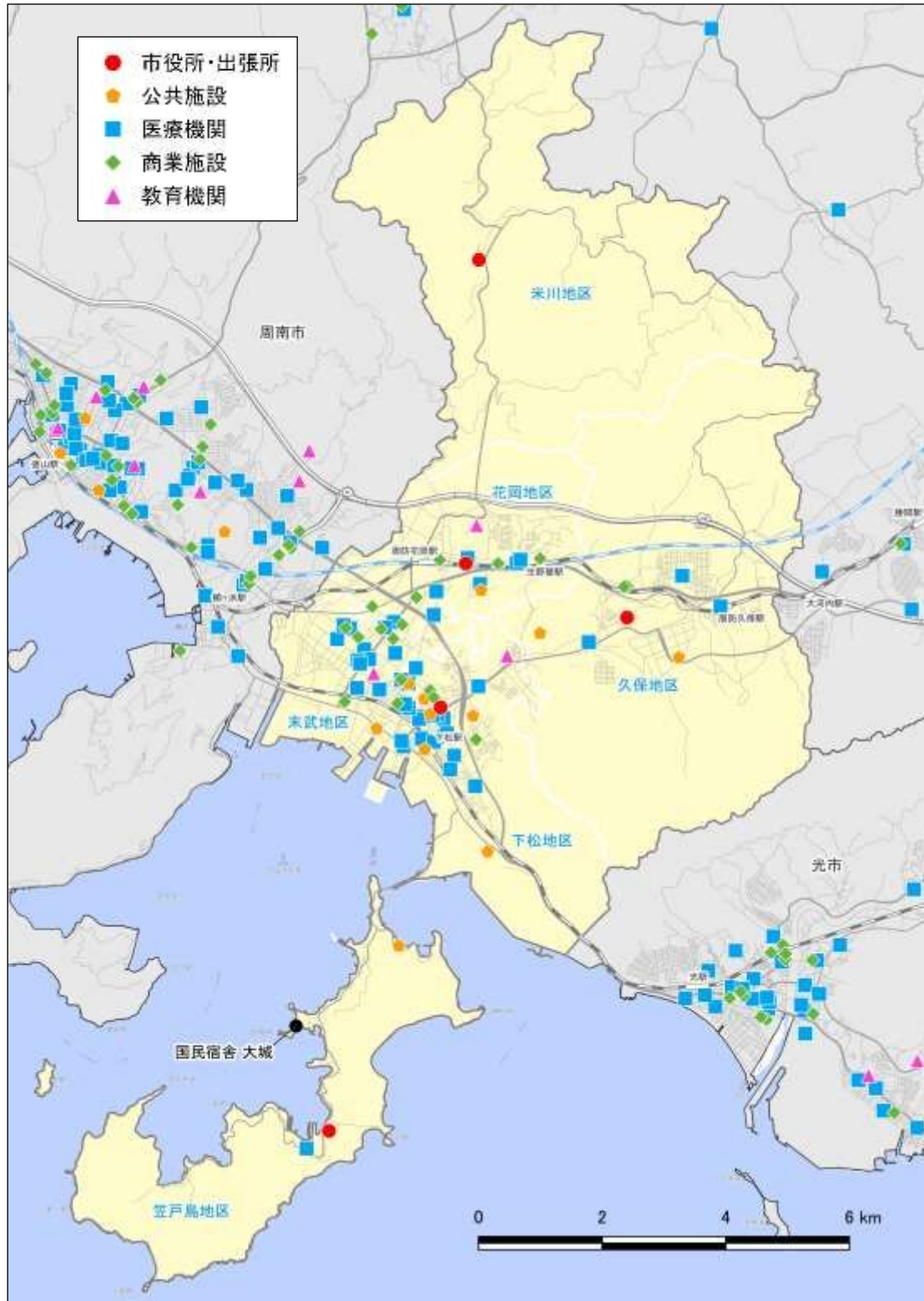


資料：令和2（2020）年国勢調査

(3) 目的地となる施設の立地

下松地区や末武地区、花岡地区を中心に、商業施設や医療機関等が立地しています。一方で米川地区や笠戸島地区には大規模な集客施設がありません。

図4 主要施設分布



市役所・出張所：下松市のみ表示／公共施設：スポーツ施設・図書館・会館等／医療機関：病院及び歯科を除く診療所／商業施設：複合施設・ショッピングセンター・スーパー・ドラッグストア／教育機関：大学・高等専門学校・専門学校・高校

(4) 観光

笠戸島地区では、平成28（2016）年に観光拠点となる国民宿舎大城がリニューアルオープンし、令和2（2020）年には栽培漁業センターが日本最大規模のタッチングプールを備え「ひらめきパーク笠戸島」としてリニューアルしました。米川地区には、米泉湖や滝ノロ河川公園、大將軍山など四季の自然を楽しめるスポットが点在しています。花岡地区では、花岡八幡宮周辺に歴史的な文化財が多く残っており、通年で観光客が訪れています。

令和3（2021）年7月から観光協会案内所、令和4（2022）年4月から「ひらめきパーク笠戸島」で、レンタサイクル*サービスが開始され、笠戸島や市内の観光に利用されています。

図5 観光スポット



資料：下松市観光協会

(5) 地域における移動の状況

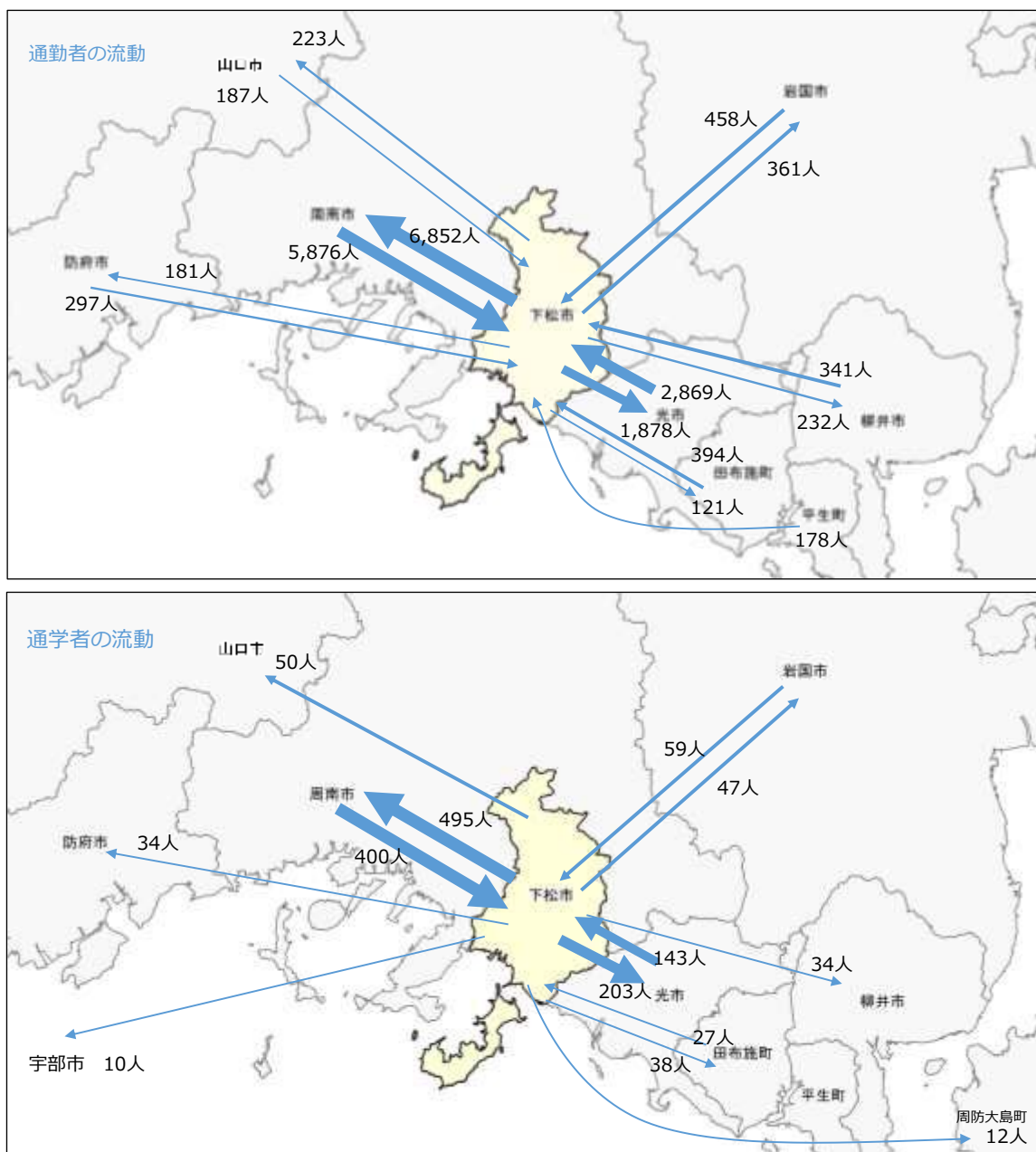
隣接する周南市、光市とともに周南広域都市圏を形成しており、市民の生活に強い結びつきがあります。

①通勤・通学

下松市常在者が通勤・通学に利用する移動手段は、自家用車が73.7%と最も多く、次いで自転車14.8%です。公共交通である鉄道・電車は4.5%、乗合バスは1.5%です。

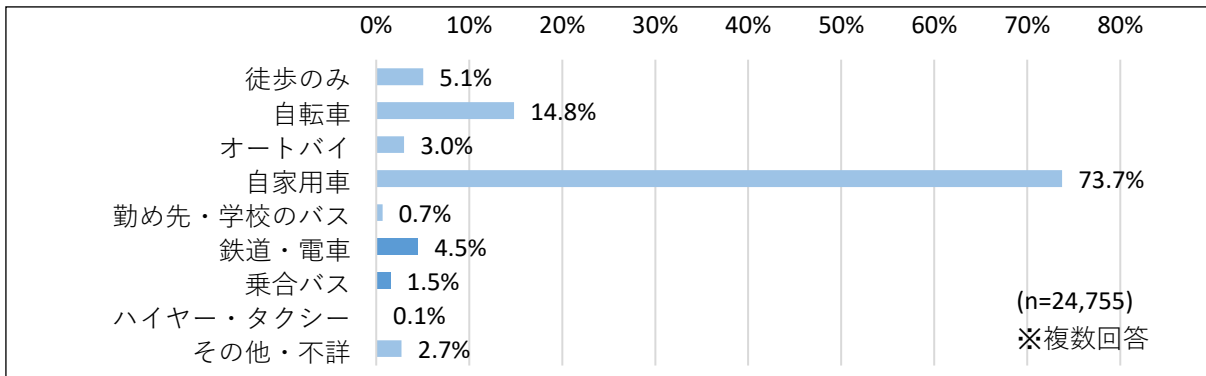
市内の高校に通う生徒は、自転車が主要な移動手段となっており、次いで鉄道を利用しています。本市から他市の高校等へ通学する生徒は、鉄道や自転車のほか、路線バス、スクールバス、保護者の送迎を利用しています。

図6 通勤・通学による人口流出入状況



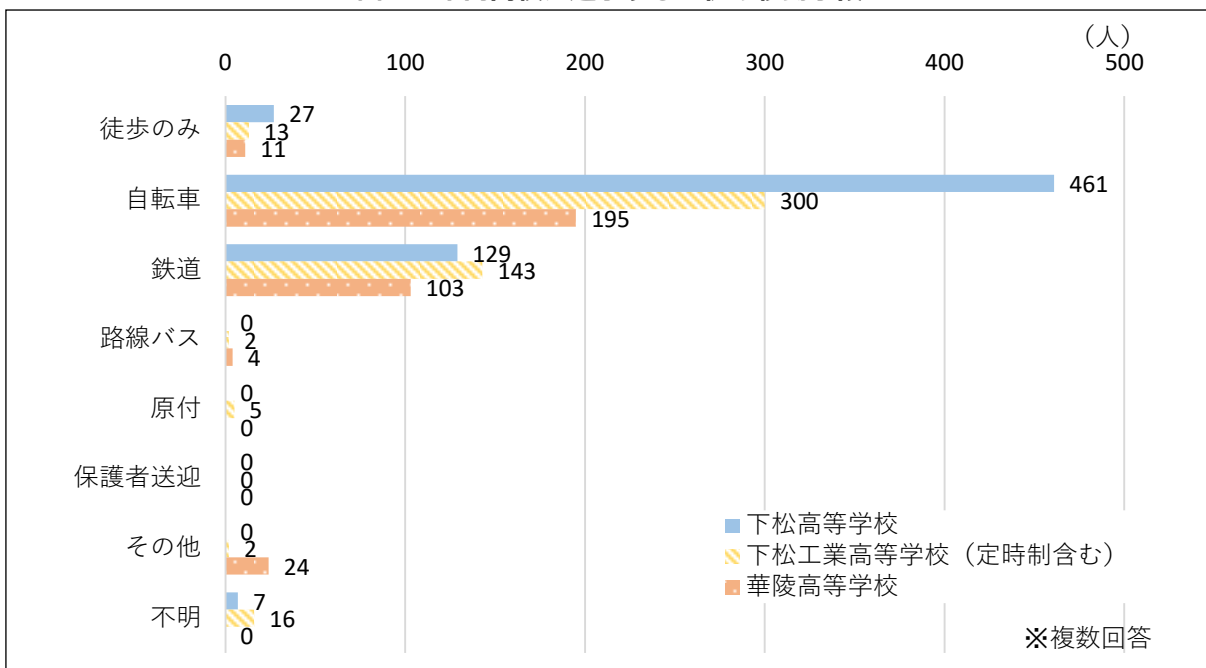
資料：令和2（2020）年国勢調査（通勤は100人以上、通学は10人以上の流動がある自治体のみ表示）

図7 下松市に常在する通勤者・通学者の移動手段



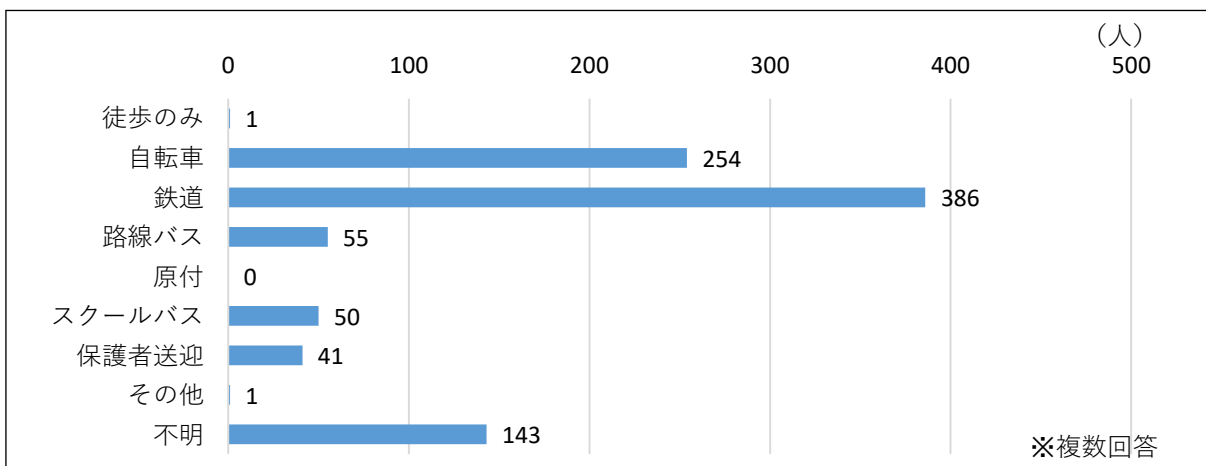
資料：令和2（2020）年国勢調査

図8 市内高校に通学する生徒の移動手段



資料：高校等事務局アンケート調査（令和4（2022）年）

図9 下松市から周南市及び光市の高校・高等専門学校9校に通学する生徒の移動手段

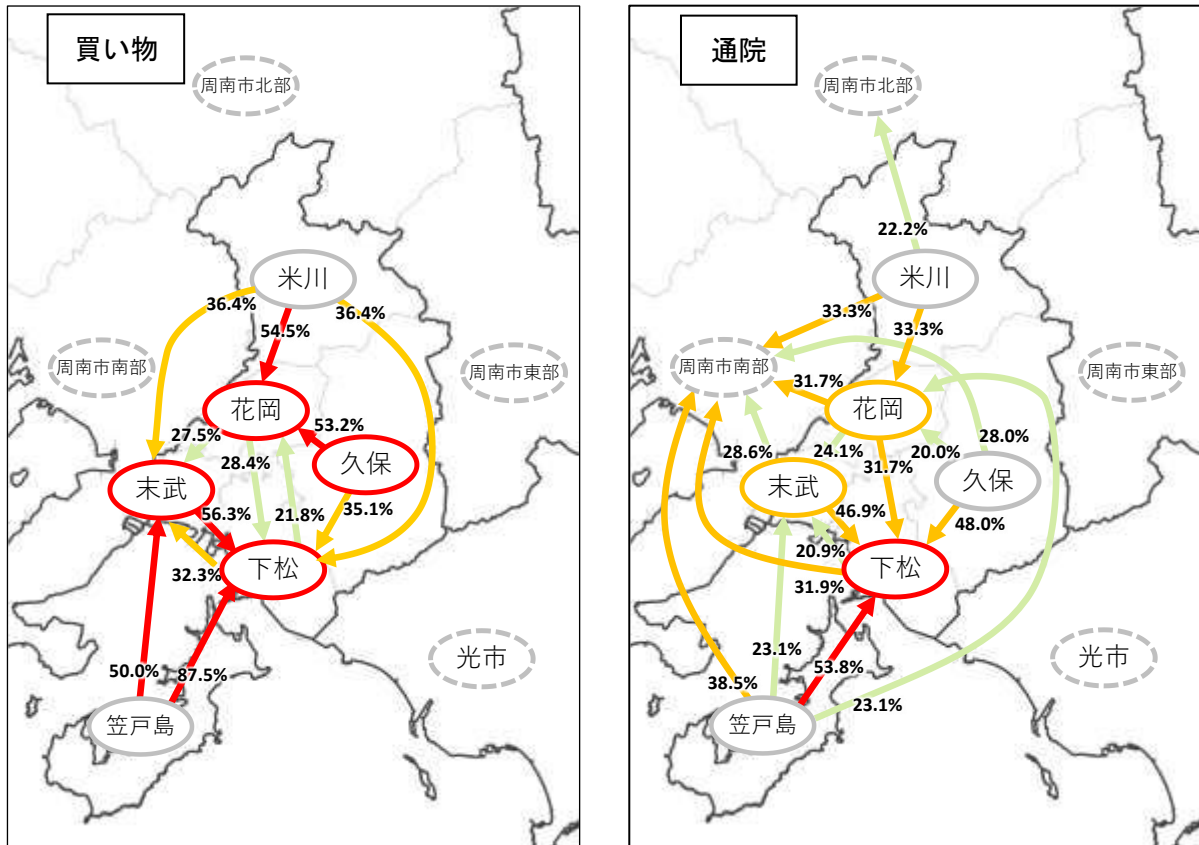


資料：高校等事務局アンケート調査（令和4（2022）年）

②買い物・通院

買い物の移動ニーズについては、花岡地区、末武地区、久保地区、下松地区は自地区内の移動の割合が5割以上と高いですが、米川地区と笠戸島地区は他地区への移動の割合が高くなっています。通院の移動ニーズについては、特に米川地区、笠戸島地区、久保地区は他地区への移動の割合が高く、また、全ての地区から周南市南部への移動もあります。

図10 市民の移動ニーズ（買い物・通院の流動図）



各地区の住民がよく利用する施設として

- 50%以上の回答者が指摘
- 30%以上の回答者が指摘
- 20%以上の回答者が指摘

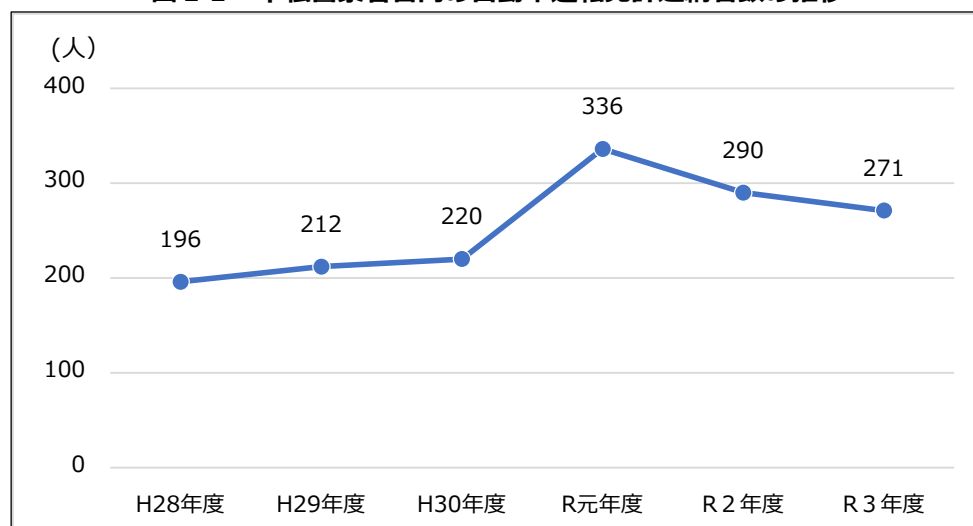
※少なくとも1つ以上の施設を回答した回答者の数を母数とした指摘率

資料：下松市の公共交通に関する市民アンケート調査（令和4（2022）年）

(6) 自動車運転免許の返納状況

近年は年間200～300人程度が自動車運転免許を自主返納しています。本市では、自動車運転免許を自主返納した高齢者に対し、記念品を配付しています。

図11 下松警察署管内の自動車運転免許返納者数の推移



資料：下松警察署

自動車運転免許返納者への公共交通利用支援

●高齢者運転免許自主返納記念品配付事業

本市では、自動車運転免許を自主返納した高齢者の方に記念品（下記5種から1つ、1回限り）を配付しています。

- ・山口県共通バスカード（2千円程度）
- ・下松市コミュニティバス*「米泉号」（以下、「米泉号」という。）回数券（2千円程度）
- ・国民宿舎大城利用券（2千円程度）
- ・防災用品（2千円程度）
- ・交通系ICカード*「ICOCA」（2千円程度）



<利用実績>

令和2（2020）年度 213人（共通バスカード94人、米泉号回数券5人、他114人）

令和3（2021）年度 231人（共通バスカード87人、米泉号回数券3人、他141人）

●運転卒業証制度のタクシー支援

運転免許の自主返納者に交付される「運転卒業生サポート手帳」又は「運転経歴証明書」を提示すると、タクシーを運賃1割引で利用できます。